



講演会講師の絵本作家・のぶみさん(右)。会場には女性や親子連れが多く参加していました。



伝統(家庭)・アイデア料理  
展示会・試食会



漆野いんげん甘煮



色彩りおにぎり



さつまいもの揚げ餅



完熟柿の寒天



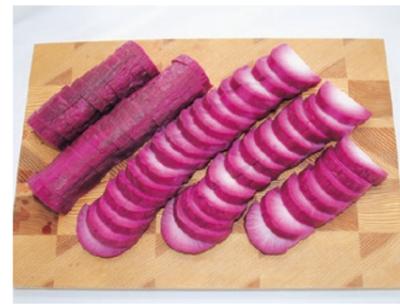
納豆と白ネギのミニピザ



山ぶどうゼリー



かぼちゃのモンブラン



大根の山ぶどう漬け



スパニッシュオムレツ

この他にもたくさんの家庭(伝統)料理・アイデア料理が並びました。

\*\*\*\*\* 「家庭の日」のはじまり \*\*\*\*\*

「家庭の日」運動は、1955年(昭和30年)に鹿児島県鶴田町(現在のさつま町)で生まれました。鶴田町では、「家同士のつながりは強い反面、家の中の家族の絆が薄れつつあるのではないか」という問題がありました。加えて、農業を主な産業としたこの町では、ゆっくり休むことすらできない農業従事者が多いことに気づかされ、「農休日をつけては」という提案が起りました。この「家庭の日を大切にしたい」、「農休日をつけては」という思いが重なり、「家庭の日」という、日本で初めての試みが産声をあげ、町を挙げての運動へと盛り上がったのが始まりです。その後、昭和41年5月の青少年育成国民会議の発足を機に、この運動が国民運動として、全国へ急速に広がっていきました。

**大会宣言**

- 一 家庭は、すべての教育の始まりであり、人間形成の礎であることを認識し、豊かな心と健やかな身体を育むための環境づくりを進めます。
- 一 子どもたちの豊かな心と身体、夢と希望を持ち、お互いを支え合う自立した人として成長できるよう、生きる力を育てていきます。
- 一 「家庭の日」の在り方を再認識し、金山町全体が、家族の強い絆とあたたかさに包まれるよう、意識を高めていきます。
- 一 美しい金山町を次世代に引き継ぐため、環境美化への取り組みを、より一層進めていきます。
- 一 安全・安心で住みよい町づくりのため、交通ルールを守り、思いやりのある運転を心がけます。
- 一 食に対する意識を高く持ち、家庭において日々実践していきます。

今回の講演会の講師は、絵本作家・のぶみさん。国内でも有名な人気作家とあって多くのファンや親子連れが訪れました。絵本の読み聞かせを披露すると会場内には笑顔があふれ、参加者はのぶみさんの絵本の世界に引き込まれているかのようでした。

本の販売やサイン会は長蛇の列ができ、絵本の魅力や家族とのつながりの大切さを十分アピールする講演内容となりました。

講演後は、交通安全宣言と大会宣言(決議)が承認されています。アトラクションには、認定こども園めぐたま(井上巨園長)の年長園児と先生方による「金山小唄」に合わせた踊りを披露し、会場に華を添えました。

また、健康福祉課から「心の健康づくり」に関する資料を配布。睡眠や休養の大切さを説き、ストレスを溜めないこと、うつ病を防ぐために生活習慣の紹介がありました。

参加者から「今回の講演会の講師は良かったし、すごく充実していた。若いお母さん方の参加が増えれば、一方で「子育て世代にいたる父親の参加がもっとあればいいの」、「婦人会のない地区にも参加を呼びかけてほしい」などの意見も出ていました。

今後も女性団体の皆さんの益々のご活躍を期待します。

毎月第3日曜日、家族が集まる「家庭の日」作ってみませんか？